

こんにちは 議会です!!



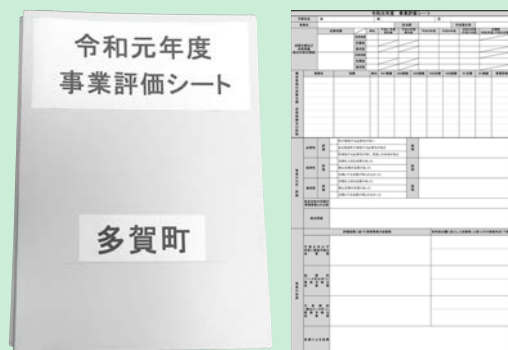
「自然保育」たくましく育ててね!



- 令和元年度決算を審査 …… 2
- 決算委員会 …… 4
- 9月定例会 …… 6
- 補正予算 …… 7
- 臨時会 …… 8
- 一部事務組合決算 …… 9
- 総務常任委員会 …… 10
- 産業建設常任委員会 …… 11
- 町政を問う(10人が一般質問) …… 12
- 結のひと 結のまち …… 18

令和元年度

「事業評価シート」で 事業の継続を



行政事務・防災

ふるさと納税	寄附金104件、199万円(1.5倍増)
通学路防犯対策	多賀小学校区に防犯カメラ2台
大滝地域活性化	プロジェクトチーム編成
集落活動推進	39集落へ活動支援交付金
若者定住支援	113件に882万円助成
空き家対策	老朽空き家2件を除却
公共交通対策	路線バス、愛のりタクシー補助
マイナンバーカード	671人に交付
災害備蓄品整備	パンの缶詰1008食購入



路線バス



ふるさと納税のお礼の品

教育・生涯学習

中学生海外派遣研修	8人がニュージーランドへ
新入学生通学助成	カバン、ヘルメットの支給
土曜講座	中学生39人の教育支援
放課後児童クラブ	年間250日、小学1～6年生
生涯学習推進	出前講座・コンサートを開催
体験活動推進	発明クラブ、ネイチャークラブ
保健体育	指定管理者制度を導入
図書館	利用者1994人
博物館	入館者16129人



海外研修
(ニュージーランド)



あけぼのパーク多賀

まちづくり

環境保全型直接支払	農業6団体へ補助
農村まるごと保全対策	14組織の水路・施設維持へ補助
有害鳥獣駆除	シカ498頭イノシシ29頭サル38頭
里山整備	藤瀬・霜ヶ原・南後谷地区
森林環境学習	やまのご事業(38校2267名)
がんばる商店応援補助	2件に400万円
橋梁長寿命化	大滝橋(藤瀬)
多賀スマートインター整備	上り線設計、盛り土材の貯留

福祉・健康づくり

配食サービス	1053食
長寿祝い金	90歳・95歳・100歳に支給
放課後支援	週5日、杉の子クラブ
福祉医療助成	中学生までの医療費給付
育児用品助成	粉ミルク・紙オムツ(258人)
子育て支援対策	子育て支援センター
もんぜん亭指定管理	シルバー人材センターに委託
地域サロン運営	22集落の活動
老人クラブ活動補助	28クラブの活動

監査委員の報告

- 一般会計は2億7229万円の黒字である。
- 特別会計は6560万円の黒字である。
- 自主財源は54.5%で前年度比0.6%減少。
- 町税の収納率は99.36%である。(前年並み)
- 実質公債費比率は7.7%となっており、良好な状態にあると認められる。
- 普通建設事業費(中央公民館等)の減額が大きい。

代表監査委員 寺西 久和

令和元年度の決算を審査

財政は健全か

決算特別委員会

歳入 50億2558万円 前年比5.3億円減(9.5%減)

歳出 47億4952万円 前年比5.1億円減(9.7%減)

実質収支 ▶▶▶ 2億7229万円
(歳入-歳出-繰越財源) (令和2年度に繰り越されます)

財源の構成は

	(万円)
町税	19億4308
分担金・負担金	5063
使用料・手数料	1392
財産収入	356
寄附金	401
繰入金	1億6416
繰越金	2億9605
諸収入	2億6416
合計	27億3957

自主財源
(54.5%)

町税収入の内訳は

	(万円)
住民税	7億7580
(個人)	3億3206
(法人)	4億4374
固定資産税	10億8570
軽自動車税	2952
たばこ税	5079
鉱産税	127
合計	19億4308

依存財源
(45.5%)

地方交付税	8億6414
国庫支出金	4億0077
地方譲与税	5275
地方特例交付金	4463
県支出金	3億1483
地方消費税交付金	1億5417
自動車取得税交付金	1001
環境性能割交付金	253
その他	848
町債	4億3370
合計	22億8601

基金の残高は(令和元年末)

	(万円)
財政調整基金	10億7669
減債基金	5030
社会福祉基金	1億181
公共施設等維持管理基金	5000
中央公民館建設基金	1836
まちづくり基金	207
土地開発基金	4319
ふるさと水と土の保全基金	3200
合計	13億7441

町債残高

新規借入れ 4億3370万円
 返済(元金、利子) 4億5561万円
 現在高(前年度比0.4%減) 52億7978万円



教育・生涯学習

問 幼児教育・保育の無償化
国からの補助は



答 無償化は元年10月から始まった。保護者負担が減ったため、1305万円の減収となった。国から臨時の交付金が3403万円。残額は事業費に充当した。

問 小学生学力テスト
結果の評価と活用は



答 両小学校のテスト結果に差が生じた。点数だけでなく、学年や人数の違いも平均点に影響した。結果は、今後の指導に役立てる。

問 夏のスポーツ大会
中止になった理由は



答 湖東野球大会は猛暑による熱中症対策のため30年度は中止、元年度は秋に延期。日程調整、部員不足などの問題で、継続は難しいと判断した。

問 待機児童の
町外への入園者数は



答 町外への入園は親の勤務の関係など23人。今後も転入者の増加が見込まれ、幼児教育施設の整備に取り組む。

問 小中学校通学バス
運行経費は



答 両小学校の通学に1419万円、中学校は1513万円。大滝小の通学バス購入費用は660万円。

問 歴史民俗資料館の
改修計画は



答 歴史民俗資料館はアスベストが使用されており、利用ができない。他の社会教育施設も含め2年前に計画を立て、今後個々の計画を作成する。

問 母子手帳の
発行件数は



答 元年度は61人。手帳には検診の受診経過が記入される。病気の有無や予防接種を確認できる。近年転入者が増え、以前の経過の把握が課題。

問 粉ミルク代など
育児支援の拡充は



答 転入・出生の増加にあわせ予算の増額が必要と考える。購入した領収証を添えて半年に一度の申請であるため、保護者の負担軽減も考えたい。

問 がん検診の
受診者数は



答 胃がん検診345人、子宮がん検診288人、乳がん検診227人、大腸がん検診518人、肺がん検診453人

問 成人の風しん検査・
予防接種の受診者数は



答 風しんは罹患しないと抗体ができない。抗体の有無を調べる抗体検査86人。そのうち、抗体がない陰性の40人が予防接種を受けた。

問 障がい者の自立支援
国への要望は



答 盲の老人ホームの入所者には、住所地特例が適用されない。このため移動などの支援の費用は、現住所である本町が負担。前住所地が負担する法改正を要望している。

問 町内老人クラブの
団体数は



答 30人未満の小規模クラブが8団体、30人以上の適正クラブが20団体。

行政事務

問 ふるさと納税
業務の委託内容は



答 インターネットを利用して申込みのためのサイト利用、書類の発送、寄附金の管理、返礼品の発送などの業務を民間会社に委託している。寄附金の10%を支払っている。

問 たばこ税の増減は
販売店舗の現状は



答 前年度と比べ7万円の減収。本数では、45万本の減少。販売店舗は、コンビニエンスストア4店舗と、小売振興会に加盟する6店舗。

問 軽自動車税の
環境性能割は



答 元年10月に創設された。本町では、軽自動車税のうち56万円である。50万円以上の車を取得したときに課税される。

問 コロナ対策に
基金の活用は



答 元年度の繰越金が2億7千万円になり、コロナ対策の財源にあてる。財政調整基金への積立は約10億円。取り崩すことなく運営した。

問 森林環境税の今後は



答 森林振興に充てる特定目的の譲与税である。令和6年から一人あたり1000円が課税される。

問 空き家にかかる
固定資産税の特例は



答 建物が残っていれば、住宅用地特例で税は減額になる。更地にすれば特例が外れ、解体撤去が進まない原因でもある。

問 中央公民館
建設後の問題は



答 調理室のシンクのサイズや、身障者トイレのボタン操作など、利用者から指摘があった。必要に応じて改修をする。

問 路線バスの負担額
算出根拠は



答 路線のある市町が距離に応じて費用を按分する。甲良線では、彦根市、甲良町、多賀町の3市町で按分する。

問 ゴミの減量への
取り組みは



答 犬上3町で協議会を開催。白色トレイ、ペットボトルの処理を甲良町シルバー人材センターに委託し、プラスチックごみの減量に努めている。

問 除雪の体制は
今後の課題は



答 12社に除雪を委託している。機械オペレーターの高齢化や、機械整備費用が課題となる。集落除雪は、多賀、富之尾、木曾。

問 絵馬通りの
活性化の動きは



答 イタリア料理店が出店する計画があったが、出店者の事情や駐車場などの条件で、出店が中止になった。

問 SL機関車の
譲渡問題は



答 愛知県豊田市の方への譲渡が決まっている。移転先の地盤改良を経て、来年2月までに移転される計画である。

まちづくり

9/4

9/29

健全財政の堅持を

◎財政構造 (構成比) (%)	
区分	元年度
自主財源 (町税、繰入金他)	54.5
中央公民館建設に伴う繰入金の減少など	
依存財源 (地方交付税、借入金等)	45.5
子ども・子育て臨時給付金が増加など	

◎財政健全化判断比率 (%)		
健全化判断指数	元年度	基準
実質赤字比率	—	15.0
(赤字額がないので算定されません)		
実質公債費比率	7.7	25.0
将来負担比率	60.6	350.0

令和元年度の一般・特別会計決算を認定しました

- ◎一般会計
- ◎特別会計
- 国民健康保険
- 介護保険事業
- 後期高齢者医療事業
- 育英事業
- 多賀財産区管理会
- 大滝財産区管理会
- 霊仙財産区管理会
- 下水道事業
- 農業集落排水事業
- びわ湖東部中核工業団地公共緑地維持管理水道企業会計

教育委員に同意しました

◎教育委員会委員の任命に同意しました。
小財 憲司 氏
(月之木)

条例の一部が改正されました

◎多賀町消防団員の定員任免、給与、服務等に関する条例

◎消防団員の公務災害補償条例

◎条例の一部を改正する条例
主な内容

- 寡夫をひとり親に変更
- タバコ税の見直し
- 延滞金の割合の見直し
- 長期譲渡所得に係る個人の町民税の見直し



請願・陳情

多賀町の教育施設、全家庭に安定ヨウ素剤の事前配布を求める請願

◎請願趣旨

福井県には4ヶ所の原発が稼動しています。仮に「大飯原発」で過酷事故が起きて放射性物質が放出されると多賀町には4・7時間で同物質が飛んできます。その中には「甲状線がん」を引き起こす「放射性ヨウ素」が含まれています。適切な時期に「安定ヨウ素剤」を服用すれば相当程度防ぐことができますといわれています。町民、子どもの命を守る為に事前配布を求める。

◎請願者

彦根・愛知・犬上 原発のない 社会をつくる会 事務局長 杉原秀典 全員賛成で採択しました。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出

◎意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的、社会的影響をもたらす。国民生活の続いている中で地方税、地方交付税等の一般財源の激減が避けがなくなっている。今後の自治体財政は、福祉、医療、教育、子育て、防災、減災、地方創生、地域経済、雇用対策など喫緊の財政需要への対応が、かつてない厳しい状況になる。

◎陳情者

滋賀県町村議会議長会 会長 杉浦和人 地方交付税は、引き続き総額を確保することなど総理大臣、国の関係大臣に提出しました。

補正予算を審査しました

9/16

9/29

一般・特別会計補正予算を審査し可決しました

おもな内訳 (万円)	
多賀スマートIC計画書変更業務委託料	185
大君ヶ畑集会所改修工事	300
長寿祝品および祝い金 (100才6人、95才23人)	95
出産奨励祝金 (第3子9人分)	45
民間保育所に補助	75
塵芥処理費 (粗大ゴミ収集委託費)	907
霜ヶ原高橋 補強工事	136
鳥獣害防止対策費 (GPS首輪装着業務委託ほか)	150
中学校体育館天井照明器具 交換工事	103
公有財産購入費 (谷田団地内)	1350
住宅団地開発に伴う文化財調査 (久徳)	999
2基金に積立金	6000
施設維持補修工事費 (ささゆり保、第2学童室)	73
単独小規模土地改良事業補助 (久徳)	97
インフルエンザ予防接種委託料	705

◎インフルエンザ予防接種の自己負担は

◎65歳以上、60歳以上の心臓疾患等の要介護者、妊婦の方は全額補助。生後6ヶ月から中学生まで一回2000円補助。

◎秋の粗大ゴミ収集に予算に不足が生じるため

◎公有財産購入の内容

◎谷田団地内の私有地を学校施設の用地として購入し駐車場を確保する。用地面積は298㎡



◎スマートインターの改修内容は

◎上り線側の県道交差点を地元要望により、平面交差から立体交差に変更する。

◎大君ヶ畑集会所の改修内容は

◎避難所としてバリアフリーと水洗トイレに変更する。



◎獣害対策費の主なものは

◎サルの個体調査のためGPS発信機を首に付ける費用。

◎文化財調査費用は

◎民間業者が久徳地区で、住宅団地開発する約2000㎡の埋蔵物調査費用。費用はすべて業者負担。

◎2基金の積立は

- 減災基金 1000万円
- 公共施設等維持管理基金 6030万円
- 基金残高 5000万円
- 基金残高 1億円

中川原工業団地



◎下水道事業会計 補正予算(第1号) 資本的支出金 35万円(増)

◎介護保険事業特別会計 補正予算(1号) 総額 1764万円(増)

◎国民健康保険特別会計 補正予算(第3号) 総額 504万円(増)

◎国民健康保険特別会計 補正予算(第3号) 総額 504万円(増)

◎システム改修費 8億1644万円

◎県償還金

◎過年度還付金

◎総額 8億9072万円

◎過年度還付

◎下水道事業会計 補正予算(第1号) 資本的支出金 35万円(増)

◎総額 2億6007万円

◎通信回路工事 (有線放送)

コロナ対策 お多賀いさん商品券 給付 住民一人 5000円 (500円券10枚)

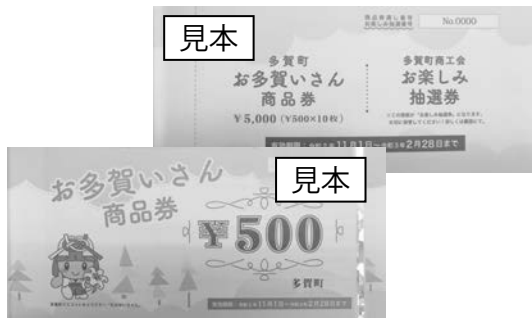
7月20日、令和2年度 一般・特別会計補正 予算を審議・可決した

◎一般会計(第6号)

総額 1億5762万円(増) 59億740万円

主な内容

- 「お多賀いさん商品券」発行費用 4673万円
- 商工会に委託



- 子育て支援 放課後児童クラブ建設 6923万円
- 幼児教育施設にペタル式消毒器冷水器 125万円
- 災害対策 1616万円

- 防災備品購入 避難所の仕切り用パーティション、床用マット、非接触型体温計、マスク、フェイスシールド、防護服、手袋等
- コミュニティバス運行対策補助金 1162万円
- 中古バス購入費用 イコカ(JR系乗車カード)導入経費

- 生涯教育施設 117万円
- あけぼのパーク多賀、結いの森にサーモカメラ付き体温計設置2台
- オンライン会議用備品 74万円
- カメラ、マイク、映像設備、ネット関連費用
- 3施設分(役場、あけぼのパーク多賀、結いの森)
- 特産物生産奨励補助金 103万円
- ソバの種子、ニンジン、ミツバチの種子(ソバの受粉用)



特別会計
国民健康保険特別会計 補正予算(第1号) 50万円(増)

総額 8億1141万円
新型コロナウイルスに感染された場合、傷病見舞金を給付する。10万円5人分。

後期高齢者医療事業 特別会計補正予算(第1号) 30万円(増)

総額 1億1195万円
新型コロナウイルスに感染された場合、傷病見舞金を給付する。10万円3人分。



契約先 (株)大塚商会 滋賀営業所

契約金額 2789万円

8月17日、令和2年度 一般会計補正予算、購入契約の締結を審議・可決した

◎一般会計(第7号)

総額 1587万円(増) 59億2326万円

主な内容 法人町民税の還付金8社。

購入契約の締結

各学校の児童・生徒に一人1台ずつタブレット型パソコンを購入

多賀小学校 364台
大滝小学校 50台
多賀中学校 206台
合計 620台

一部事務組合の決算の報告

一部事務組合とは、経済的・効率的な面から、近隣の自治体が共同で事業を行う組織です。

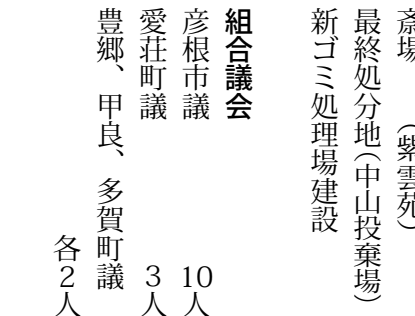
「彦根愛知犬上 広域行政組合」

構成市町 彦根市 愛荘町 豊郷町 甲良町 多賀町

管理者 彦根市長 大久保 貴氏

事業の内容 斎場 (紫雲苑) 最終処分地(中山投棄場) 新ゴミ処理場建設

組合議会 彦根市議 10人 愛荘町議 3人 豊郷、甲良、多賀町議 各2人



議長 彦根市議 馬場氏
副議長 多賀町議 竹内氏

令和元年度決算
歳入 4億5275万円
歳出 4億3522万円
収支 1753万円

多賀町負担分
紫雲苑 455万円
中山投棄場 2172万円
新処理場 708万円
合計 3335万円

新処理場の現状 (彦根市清崎町)
地歴調査、地質調査、地形調査を令和2年度完了

「湖東広域衛生 管理組合」

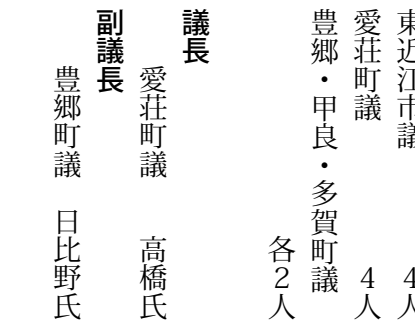
構成市町 東近江市 愛荘町 豊郷町 甲良町 多賀町

管理者 豊郷町長 伊藤 定勉氏

事業の内容 し尿処理場 リバースセンター (ゴミ処理場) 障がい児通所支援

組合議会 東近江市議 4人 愛荘町議 4人 豊郷・甲良・多賀町議 各2人

議長 愛荘町議 高橋氏
副議長 豊郷町議 日比野氏



旧愛東町、湖東町は東近江市に編入されたため、令和2年度から完全に当組合から脱退。

令和元年度決算
歳入 7億 912万円
歳出 6億9285万円
収支 1626万円

多賀町負担分
衛生費負担金 4594万円
衛生費負担金 2793万円
民生費負担金 1065万円
合計 8452万円

組合議会 彦根市議 15人 多賀町議 5人 甲良町議 2人 豊郷町議 1人

議長 彦根市議 矢吹氏
副議長 多賀町議 大橋氏



「彦根市犬上郡 営林組合」

構成市町 彦根市 多賀町 甲良町 豊郷町

管理者 彦根市長 大久保 貴氏

事業の内容 スギ、ヒノキ山林管理他 間伐材売却 造林、林道補修など

令和元年度決算
歳入 2600万円
歳出 2332万円
収支 268万円
基金残高 5115万円

多賀町負担分
分担金 264万円
林道補修補助金 68万円
合計 332万円

「滋賀県市町村 交通災害共済組合」

管理者 野洲市長 山仲 善彰氏

民間保険会社が同等以上の保険を強化しているため事業を中止、解散し財産処分した。

多賀町への割戻金 令和元年度 285万円

新型コロナウイルス感染症対策
国民健康保険・介護保険
減収世帯に減免受付



補正予算2案、4特別会計事業の決算、条例改正、請願、陳情を審査しました

令和2年度国民健康保険
会計補正予算(第3号)

504万円(増)

国民健康保険

問 世帯数と被保険者の数は。県下で税率が統一される時期は

答 997世帯、161人。令和6年度以降。

介護保険

問 基金残高は

答 5536万円。

後期高齢者医療

問 特別徴収(年金からの割合は

答 74%

育英事業

問 審査の基準は

答 父母の年収合計が300万円以下。

令和2年度介護保険会計
補正予算(第1号)

1764万円(増)

問 補正の内容は

答 新型コロナウイルス感染症の影響による減免分、システム改修費、県に対する返還金。

税条例の改正、請願、陳情は、6ページで報告

令和元年度決算

(単位：万円)

事業名	歳入	歳出	収支	事業内容
国民健康保険	8億406	7億7080	3326	医療給付、特定健診
介護保険	8億8694	8億6519	2175	介護給付、介護予防
後期高齢者医療	1億144	1億30	114	広域連合への負担金
育英事業	324	318	6	奨学資金の給付

閉会中の調査

総務課所管

「消防事業」

問 事務委託の状況は

答 彦根市消防本部に令和2年度の委託料は、1億3126万円。各市町の基準財政需要額等をもとに按分。多賀町分は9・4%。

問 女性で構成する消防組織は(婦人消防隊)

答 土田区・敏満寺区・大君ヶ畑区の3地区にある。

「ふるさと納税」

問 委託先は

答 運営委託は(株)JTBに寄付額の10%で委託。(株)トラストバンクは年額50万円です。

問 納税件数と納税額は

答 平成30年度 76件 132万円
令和元年度 104件 199万円

「防犯カメラ」

問 絵馬通りのポラード損傷事故が頻繁に起こるがカメラの設置の考えは

答 緊急搬送の実績は急病218人、負傷61人、交通事故27人。

閉会中の調査

県営芹川ダム
耐震改修
総工事 約15億円

当ダムは建設後60年以上経過している。また東南海地震、鈴鹿西縁断層帯など大規模地震の発生が危惧される。

震度5以上で法面が崩壊するおそれがある事が判明、平成27年度から令和4年度完成を目指して工事の現地を視察しました。

「大滝山林組合」の概要報告を受けた

構成市町 多賀町、甲良町、豊郷町、彦根市
管理者 榎栄 浩之 氏
組合議会 多賀町14人、甲良町8人、豊郷町1人、彦根市1人
多賀町補助金 1455万円

事業の概要

所有林約 2400鈔
植林・育林事業
素材生産事業
林産物栽培・加工・販売
高取山公園管理
森の未来を創り出す事業(森林環境学習やまのこ)
本業の山林事業で素材の価格低迷で赤字が続いていて、今後の課題である。

安全・安心
まちづくりを

産業建設常任委員会



4特別会計事業の決算を審査しました

下水道事業

問 次年度より企業会計に変更になるが資産は

答 固定資産 56億5700万円
流動資産 577万円
流動負債(企業債) 25億9108万円

農業集落排水事業

問 山間地の生活の衛生、利便性確保のため事業が開始された。

答 使用料は減少しているが、抜本的な見直しは最適化構想のもと、施設の長寿命化をはかり現状の施設を更新させていきたい。

公共下水道に接続するには管渠整備、流域下水道との協議が必要。

工業団地公共緑地
維持管理事業

問 本町と進出企業との出資金利子で運営されてきた基金残高は

答 3億4681万円

水道事業会計

問 官公署・事業所用の使用料が減少しているが

答 原因は 大型事業所の漏水復旧が原因である。
プールの使用料の減、

問 施設の利用率は同規模事業者より上回っている、最大稼働率は低く過剰投資と言われている、新水源はどうするのか

答 現在の給水は大部分が川相水系から配水されている。管渠も施設も老朽化が進んでいる、管渠は供用後、改良工事はできていない。

平地は今後、中川原水源、新土田水源を活用していきたい。

令和元年度決算

(単位：万円)

事業名	歳入	歳出	事業内容
下水道事業	4億6690	4億2103	維持管理・新規接続
農業集落排水事業	6082	5733	2箇所の浄化施設管理
工業団地公共緑地維持管理事業	522	472	工業団地内道路管理
水道事業 収益的事業	3億8342	3億2880	水道使用料
資本的事業	3000	1億4863	施設維持管理



町政を問う

一般質問って？

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

質問事項	ページ
富永 勉 ◎巡回バスの検討は ◎(仮称)多賀スマートインターチェンジ整備計画の進捗状況は	13
近藤 勇 ◎獣害対策は ◎圃場整備田等の活用は	13
神細工 宗宏 ◎犬上川ダムの事前放流は ◎避難誘導マニュアルの策定は	14
松居 亘 ◎小学校休業における対応は	14
山口 久男 ◎新型コロナウイルス感染症対策は ◎国民健康保険運営方針は ◎地域公共交通は	15
大橋 富造 ◎教育現場での感染症対策は ◎四手川一級河川の整備は ◎大岡地先の進入口道路拡幅と上水道本管空気弁の取付け位置の変更は	15
木下 茂樹 ◎新ゴミ処理場の負担額は ◎農業後継の展望は	16
川添 武史 ◎農地の保全是 ◎旧「中戸川」の改修は ◎獣害対策は	16
清水 登久子 ◎サポカー補助金に支援を ◎多賀の自然と歴史を活かした観光は	17
菅森 照雄 ◎障がい者にグループホームを ◎軽自動車税減免の対象を療育手帳(知的障がい者)判定「B」の方まで拡充は	17

(注)◎印の内容は掲載していません。

質問1

巡回バスの検討は

—町長—

地域ごとに意見を聞く



とみなが つとむ 富永 勉



公共交通利用促進会議

問 公共交通利用促進会議で巡回バスの検討は

町長 答 「町に適した公共交通のあり方とは何か」を研究するために設置したが、巡回バスの必要性を共有するまでの議論には至っていない。

具体的な施策の検討には、地域ごとに詳細の意見を聞き取る必要もあり、各委員から示された問題意識を共有して、今後の進め方を考えたい。



立体交差予定地

質問2 (仮称)多賀スマートインターチェンジ整備計画の進捗状況は

町長 答 上り線側のアクセス道路、県道佐目敏満寺線との交差点については、当初の計画から大きく変更となり、3.5mまでの空間の高さで立体交差にしてほしいという地元の要望を県で検討。

同時に、大型車の通行規制も要望の中にあり、それについては検討中です。

質問1

獣害対策は

—産業環境課長—

出没させない環境づくりを



こん どう いさむ 近藤 勇

問 ①獣害対策について、サル の 個 体 調 査 で 現 在 の 生 息 数、生 息 状 況 は

②サル の 追 い 払 い が 予 算 化 され っ て い る。そ の 効果 は

③ロケット花火や爆竹は 一 時 的 な も の で あり、電 動 連 射 ラ イ フ ル を 用 い た 取 り 組 み の 支 援 は

④被害を最小限にとどめるための町行政の取り組みは

産業環境課長

答 ①100頭程度。平地を含めて広範囲に生息。②山中にまで追い込みつつ、人里を怖がり山林にとどめるといふ効果的な追い払いが必要ではありませんが、爆竹等では一時しのぎである。

③事故が起こるのを避けるため、貸出等は行っていない。

④生息環境の管理と獣害防除対策の両立、出没させない環境づくりが必要。

質問2

圃場整備田等の活用は

問 ①圃場整備田での遊休農地、耕作放棄地の発生を防ぐ取り組みは

②既に遊休農地化、耕作放棄されている農地を解消し、農作物を作付けした時、町独自の支援は

③圃場整備田以外の農地、山間地域の保全是

産業環境課長

答 ①農業委員会による農地パトロール。農地推進委員の訪問による聞き取りを実施している。

②世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業で支援。

農業者だけでなく地域の人々が共同で遊休農地の発生を抑制してもらう。

③中山間地域等直接支払制度の活用を進める。



山口 久男

質問1 新型コロナウイルス感染症対策は —福祉保健課長— 濃厚接触者を最優先に

問 ①医療、介護、障がい者施設の従業者、入所者等に対しPCR検査は
②感染の疑いのある所で希望する住民に公費による検査は
③近隣市町と連携し検査体制の整備は
④非正規労働者に対する支援対策は
⑤他市町で実施している水道の基本料金の減免の考えは
⑥小中学生の学習環境、心のケア、教職員の働き方の取り組みは

答 ①濃厚接触者、感染の疑いのある人を最優先に、②医療機関に相談の上、かかりつけ医の判断で検査を受けられる。③地域外来、検査センターが拡充されている。
産業環境課長
答 ④新型コロナウイルス感染症対応休業支援給付金の支給対象となる。



山口 久男

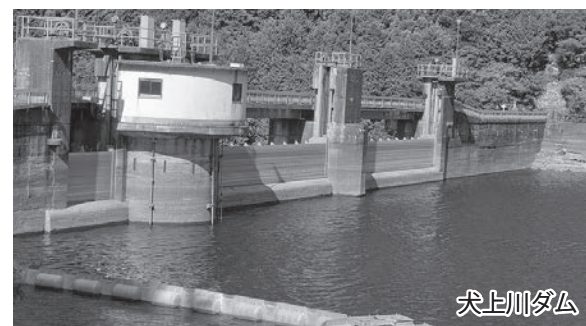
質問1 教育現場での感染症対策は —学校教育課長・教育長— 3密対策を徹底した

問 ①休業中に各教育現場の再開に向けたソフト・ハード面の対策や問題点は
②学校再開から休業後の子どもたちの変化や学校生活の様子は
③教職員に感染者が生じたときの対策と公表は
④休業となったときのオンライン授業への計画などの方向性は

答 ①子どもたちの健康状態チェックは、健康観察票を作成し、子どもたち全員に配布し、休業中から継続して毎日記入し、健康確認をした。また、マスク着用や手指の消毒、換気、3密対策は文部科学省の通知に従い、学校現場で周知徹底した。
②友達との再会を喜び、元気よく登校してくる子どもの姿が多く見られた。マスク着用については、

質問1 犬上川ダムの事前放流は —産業環境課長— マイナス2.5mまで下げる

神細工 宗宏



犬上川ダム

問 犬上川ダムの上流域において基準降雨量を超える予報が出た場合の事前放流は
②川相地区は過去にも床下・床上浸水の被害を受けている。計画的な浚渫・護岸工事計画は
産業環境課長
答 ①台風により降雨量が基準降雨量(385mm/24h)以上の予報が出た場合には、予備放流でダムの水位をマイナス2.5mまで下げる。
地域整備課長
答 ②浚渫や砂利採取の計画的な実施には至っていませんが、土砂の堆積状態を確認しながら、河川管理者である湖東土木事務所へ要望する。
質問2
避難誘導マニュアルの策定は
問 ①災害時の備蓄状況は
②町全体の避難誘導マニュアルの策定は
総務課長
答 ①備蓄物資として、乾パン、毛布、簡易トイレなどの個人への支給物資や、発電機、救助工具、投光器などの資材を整備
②避難行動要支援者避難支援マニュアルや避難勧告等判断・伝達マニュアルなどを策定している。町全体の避難誘導マニュアルはありません。

質問1 小学校休業における対応は —学校教育課長— 定期的に情報共有を

松居 亘



問 ①新型コロナウイルスによる長期の臨時休業により、親から子どもに対する不適切な言動や叱る場面も多くなり、子どもに対する心理的ケアは
②子どものメンタルヘルス不調の早期発見のため心の健康チェックの取り組みは
③子どもたちの規則正しい生活習慣を身につけつつ学習を継続させる取り組みと、休業期間中における学校からの情報発信はどのようにされたか
④学校再開延期で授業計画、行事のスケジュールの見直しなど、教職員に負担がかかり、そのための支援は
⑤今回の休業についての見解は

答 ①児童には教育相談親には家庭訪問や懇談をしている。
②子どもへの生活アンケート、保護者アンケートを実施して状況を把握している。
③学級通信や宿題などを各家庭に配布。保護者へ学校メールを送付、定期的に電話連絡。
④学校現場では常に報告、連絡、相談し情報を共有した。また、スクールサポートスタッフを配属し負担軽減となった。
学校教育課長
答 ⑤学校の長期臨時休業は多大の影響をおよぼす。本町も専門家等とともに適切に判断する。



質問1

サポカー補助金に支援を

—総務課長—

県の動向を注視する

しみずとくこ
清水 登久子

問 ① 霊仙山は鹿の皮はぎや倒木などで荒れ果てている。
② 学校歌にもある親しみのある山を守る対策はあるか。
③ 芹川上流では、多くの方が自然を求めてバーベキューなどを楽しんでいるが、自然環境の悪化が深刻で、対策を

多賀の自然と歴史を活かした観光は

質問2

問 ① サポカー補助金制度の周知の現状は
② 補助金制度に合わせて70歳以上の方に町単独での上乗せ支援を

総務課長

答 ① 制度の周知についてはできていない。早急に公報などで周知したい。
② 町単位での上乗せ支援については県の動向などを注視していく。



芹谷分校跡地

問 ① 霊仙山は鹿の皮はぎや倒木などで荒れ果てている。
② 学校歌にもある親しみのある山を守る対策はあるか。
③ 芹川上流では、多くの方が自然を求めてバーベキューなどを楽しんでいるが、自然環境の悪化が深刻で、対策を

生涯学習課長

答 ③ 城跡や史跡について調査をし、観光などの事業化を進める。芹谷分校跡地については検討。

地域整備課長

答 ② 地域住民からも環境悪化に対する苦情もある。個人のモラルや良心に訴える看板の設置等による啓発を促す。

産業環境課長

答 ① 今後も県や米原市と情報共有しながら必要に応じて植物の保護、再生を要望。
③ 町内の城跡や史跡は観光資源となりうる可能性がある。芹谷分校跡地の利用は

質問1

新ゴミ処理場の負担額は

—産業環境課長—

関係市町で決定される

きのしたしげき
木下 茂樹



ダンボールコンポスト

問 可燃ゴミの削減と新ゴミ処理場の建設に向けた負担の割合は
② 補助金制度に合わせて70歳以上の方に町単独での上乗せ支援を

産業環境課長

答 本町に限らず、リバーセンターへのゴミの搬入量は年々増えており、負担削減のため、ゴミ発生量の抑制、資源化、分別の徹底に力を入れ、ゴミの減量化に取り組んでいく。

負担の割合は関係市町で決定される。
本町だけで決められない。

質問2

農業後継の展望は

問 ① 農業者の高齢化が進んでいる。担い手の若年者育成対策は

② 大型農業機械の免許資格取得に対する補助は
③ 町産の野菜などの販売店舗の計画は

産業環境課長

答 ① 県農林漁業担い手育成基金がおこなう新規就農者支援事業を活用するなど、あらゆる方策で若手育成対策に取り組む。
② 補助制度の実施事例もあり、先進市町を参考に効果等について検証をおこないつつ検討していく。
③ 本町の農業の現状をふまえ、本町にふさわしい直売所のあり方について検証をおこなっている。

質問1

障がい者にグループホームを

—福祉保健課長—

検討していきたい

すがもりてるお
菅 森 照雄



他市町のグループホーム

問 町内に障がい者のグループホームの開設は
② 補助金申請の支援も含め、今後も関係福祉法人と協議し、障がい者が安心して暮らせるまちづくりを目指していきたい。

福祉保健課長

答 現在、町内には施設はなく、他市町の施設を利用している。
行政としてもグループホームの開設については、国の補助金申請の支援も含め、今後も関係福祉法人と協議し、障がい者が安心して暮らせるまちづくりを目指していきたい。

質問2

軽自動車税減免の対象を療育手帳知的障がい者判定Bの方まで拡充は

問 ① 条例の内容を再度精査し検討されたのか
② 減免の考えは

税務住民課長

答 ① 平成31年3月定例会にて、身体障がい者等減免制度について、税条例の一部改正をおこなった。

他市町の状況を調査、運用方法などを確認し、検討すべき点があり、障がい者の程度、区分の規定の方法は、別途、規則で制定することを検討している。

② 税の公平性から、軽自動車税の減免対象範囲も県の自動車税と同様の取扱いにする。
減免の拡充の考えはない。

質問1

農地の保全是

—産業環境課長—

遊休農地化を抑制する

かわぞえたけし
川添 武史



農地パトロール

問 ① 地域での農地の保全対策は
② 町外の方が所有される農地の保全対策は

産業環境課長

答 ① 農村まるごと保全向上対策事業や中山間地域等直接支払制度を活用していくため、今後、区長会などを通じ積極的に制度周知の機会を設ける。
② 町外の農地所有者が年々増えている。
その農地の保全対策としては、農業委員会が実施する農地パトロールなどで農地を監視し、所有者の意向も確認し、地域の担い手や集落につないだり、農地バンクを活用して対応。遊休農地の発生抑制に努める。

質問2

旧「中戸川」の改修は

産業環境課長

答 地元区長および農業組合長の連名による要望書が提出され、担当者が地元立会いのもと現地確認した。
受益面積要件を満たさないことから対象外となったが、その他の事業で対応できないか、前向きに検討する。



中戸川

結のひと結のまち

第2回

オカリナの優しい音色に魅せられて

オカリナとは

「オカリナ 風の音」は、約4年前に現在のメンバーで集まり、一人ひとりが楽しくオカリナを吹けることを目標に月2回の練習に励んでいます。



オカリナは土で作られた楽器です。その音色は優しく温かみがあり、自然に包まれているような気分になさしてくれます。誰でもすぐ音が出るので何かしら始めようとしている方、ぜひオカリナをお勧めしたいです。丁寧によく指導してくださる先生をお迎えし、音楽の基本から学ばせて

もらっています。思うように上達しませんが、唱歌からフォークソング、流行歌など演奏できる曲も増えてきました。

福祉サロンやデイサービス、お寺など、依頼があれば皆で喜び、「どんな曲をしよう?」「やっ」と目標ができたなあ!と練習にも熱が入ります。演奏会で皆さんと一緒に歌ってくれたり、「よかったワ」と言ってもらえるとても嬉しいです。



練習中、時には逸脱し、他愛もない話で盛り上がり、にぎやかに時が過ぎます。それもまた、楽しいひとときです。音符を覚え、指先を動かしたり、呼吸を整えたり、頭や身体、心の十分な栄養となるものと思っています。これからも、新しい、難しい曲にもチャレンジして、皆さんに喜んでもらえるよう、心を込めて演奏できるように、活動を続けていきたいです。

オカリナ 風の音
代表 八木 淳子 記

議会を傍聴してみませんか?

議員や町は、どんなまちづくりを考えているのか、直接、見て、聞くことができます。是非お越しください。

12月定例会の予定

12月 4日(金) | 9:30~ 開会・審議

・町長が町政報告と議案提案を行う。

12月 7日(月) | 9:30~ 一般質問

・議員が町政について質問します。

12月21日(月) | 13:30~ 採決・閉会

・初日に提案された議案を採決します。

※日程は、変更になる場合があります。
議会事務局 ☎48-8126
(有線) 2-2011



※座席は21席あります。

編集後記

行楽シーズン最中、コロナ感染の第2波が起っています。感染者が増加する中で感染「ゼロ」は県内で多賀町のみです。他の市町より、早く行ったマスクの追加配布等、感染防止啓発により、町民の意識が高

揚した証です。また教育現場では、休校中の家庭学習の資料作りや各家庭への訪問、夏休みを短縮しての授業の遅れの取り戻しなど、関係者の大変な対応に対して感謝申し上げます。

「素晴らしい町多賀」をつくりましょう。
神細工 宗宏 記

発行 / 多賀町議会
編集 / 議会広報常任委員会

F 522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
☎ 0749(48) 8126 FAX 0749(48) 8131
有線 2-2011

ホームページ <https://www.town.taga.lg.jp/>